

平成29年度 第1回 西区教育会議

平成29年9月15日

大阪市教育委員会事務局
総務部教育政策課西区担当

～目次～

1 本編資料

- ◆ 役員改選について…P1
- ◆ 学校配置の適正化について…P2～P4
- ◆ 児童・生徒の学力・体力向上について…P4～P5
- ◆ その他(はぐくみネット事業について)…P6～P7

2 参考資料

- ◆ 第1回 堀江小学校ラウンドテーブルの開催について…P10～P30
- ◆ 第1回 日吉小学校ラウンドテーブルの開催について…P32～P42
- ◆ 報道発表資料 普通科系高等学校の再編整備の方向性について…P44
- ◆ 第1回 大阪市内中心部児童急増対策プロジェクトチーム会議…P46～P75
- ◆ 第1回 西船場小学校ラウンドテーブルの開催について…P76～P88
- ◆ 第1回 花乃井中学校ラウンドテーブルの開催について…P90～P103
- ◆ 「はぐくみネット」「地域活動協議会」イメージ図…P104～P106

西区教育会議の目的及び委員の任期について

西区教育会議 開催要綱(抜粋)

(目的)

第1条 教育委員会事務局西区担当教育次長が、その所管に属する教育の振興に係る施策及び事業並びにこれに関連する分野の施策及び事業について、その立案段階から保護者及び地域住民その他の関係者等の意見を把握し適宜これを反映させるとともに、その実績及び成果の評価に関し意見を聴くため、西区教育会議を開催する。

(委員)

第3条 区担当教育次長は、会議において意見を述べる業務を、西区教育会議委員に委託する。

2 委員は、大阪市立学校設置条例に規定する西区の区域内に存する小学校又は中学校に置かれている学校協議会の委員のうちから区担当教育次長が選定する。

3 委員の定数は、11人とする。

4 区担当教育次長は、委員を選定するに当たっては、選定しようとする委員の属する学校協議会が置かれている小学校等の校長又は当該学校協議会の会長の意見を聴くものとする。

5 委員の任期は、2年とする。ただし、他の委員の任期中に新たに選定される委員の任期は、他の委員の残任期間とする。

6 委員は、連続して3回以上選定されることができない。

委員改選について

《第1期》

平成27年9月9日から平成29年9月8日

学校協議会	委員(敬称略)	議長
西中学校	小林 良堂	議長
花乃井中学校	石川 久留美	副議長
堀江中学校	宮地 秀和	
西船場小学校	山住 智則	
日吉小学校	小野 優	
九条南小学校	大西 洋子	
九条東小学校	戸塚 弓恵	
九条北小学校	濱田 良太	
本田小学校	砂野 麻貴子	
堀江小学校	木元 篤子	
明治小学校	土肥 正芳	

《第2期》

平成29年9月9日から平成31年9月8日

学校協議会	委員(敬称略)	議長
西中学校	小林 良堂	
花乃井中学校	石川 久留美	
堀江中学校	宮地 秀和	
西船場小学校	山住 智則	
日吉小学校	山内 憲之	
九条南小学校	大西 洋子	
九条東小学校	松原 里依	
九条北小学校	濱田 良太	
本田小学校	奥田 穂積	
堀江小学校	木元 篤子	
明治小学校	東 光太郎	

西区における学校配置の適正化の取り組み状況

1 堀江中学校下

- 堀江小学校・堀江中学校とも、狭隘化が著しく、抜本的な対策が必要。
- このため、市立高校再編にからめて両校の教育環境課題の改善を図る方向で検討中。
- 日吉小学校については、比較的大きな校地を有するものの、現状のままでは教室が不足する見込みとなっており、対策の検討が急務となっている。

2 花乃井中学校下

- 西船場小学校及び花乃井中学校では、児童生徒数の急増により狭隘化が進行しており、将来的には教室不足の可能性のあるものの、さらなる校舎増築が困難な状況。
- また、校区内に適当な学校用地も見当たらない。
- このため、西区と同様の課題を抱える北区・中央区もあわせて、市長をトップとした全庁的な「大阪市内中心部児童急増対策プロジェクトチーム会議」において、児童生徒の受入れに必要な対策を検討中。

3 ラウンドテーブル

- 各校の教育環境課題の改善に向け、地域・保護者と区役所等行政機関との意見交換の場として、西区教育会議に部会(ラウンドテーブル)を設置し、関係校ごとに意見交換を開始。

堀江中学校下におけるラウンドテーブルの開催状況

1 第1回堀江小学校ラウンドテーブル(平成29年5月24日)

- 委員間で正副部会長を互選したほか、「これまでの経過、現状等の説明」を行い、「今後のラウンドテーブルの進め方」について意見交換。
- 次回のラウンドテーブルにおいては、地域活動や子ども目線でのメリット・デメリットも精査し、平成29年5月1日時点でのデータに基づいた将来推計によるシミュレーション等を活用しながら意見交換を行うこととした。

2 第1回日吉小学校ラウンドテーブル(平成29年6月7日)

- 委員間で正副部会長を互選したほか、「これまでの経過、現状等の説明」を行い、「今後のラウンドテーブルの進め方」について意見交換。
- 次回のラウンドテーブルは、平成29年5月1日時点でのデータに基づいた将来推計を活用しながら意見交換を行う。
- 堀江小中学校の検討状況も見ながら、日吉小学校を今後どのような学校とすべきか検討する必要がある。

花乃井中学校下におけるラウンドテーブルの開催状況

- 1 第1回大阪市内中心部児童急増対策プロジェクトチーム会議(平成29年5月29日)**
 - 西区の検討対象校を西船場小学校、花乃井中学校とした。
 - もと扇町高校の跡地の活用も視野に入れた検討を行うほか、10年から20年先の将来推計を算出し中長期的な検討していくこととした。
- 2 第1回西船場小学校ラウンドテーブル(平成29年6月9日)**
 - 委員間で正副部会長を互選したほか、「これまでの経過、現状等の説明」を行い、「今後のラウンドテーブルの進め方」について意見交換。
 - 次回のラウンドテーブルは、「大阪市内中心部児童急増対策プロジェクトチーム会議」での検討状況を踏まえ、平成29年5月1日時点でのデータに基づいた将来推計を活用しながら意見交換を行う。
 - 次回は、第2回プロジェクトチーム会議開催後とし、日程調整を行う。
- 3 第1回花乃井中学校ラウンドテーブル(平成29年6月30日)**
 - 委員間で正副部会長を互選したほか、「これまでの経過、現状等の説明」を行い、「今後のラウンドテーブルの進め方」について意見交換。
 - 次回ラウンドテーブルは、「市内中心部児童急増対策プロジェクトチーム会議」での検討状況も踏まえ、プロジェクトチーム会議後、あまり間を置かない時期での開催を念頭に日程調整を行う。

学校施設整備における児童数推計(29年5月1日時点)

学校名	H29.5.1時点		H30(2018)		H31(2019)		H32(2020)		H33(2021)		H34(2022)		H35(2023)	
	学級数	児童数												
西船場小	16	536	20	618	22	704	24	792	26	863	29	945	31	1,015
日吉小	23	842	26	877	29	976	31	1,041	33	1,124	36	1,269	40	1,416
九条南小	8	229	9	232	10	234	10	235	10	242	11	251	11	268
九条東小	6	165	6	155	7	172	8	189	8	194	9	223	9	261
九条北小	9	244	8	217	7	217	8	217	8	219	8	234	9	240
本田小	19	604	20	628	20	650	22	714	24	752	25	814	27	884
堀江小	30	1,017	33	1,124	36	1,236	38	1,333	41	1,474	44	1,602	48	1,739
明治小	11	314	11	312	11	327	13	388	14	431	15	473	17	527
小学校合計	122	3,783	133	4,163	142	4,516	154	4,909	164	5,299	177	5,811	192	6,350

- 住民基本台帳及び在学児童の数を基に大規模マンション建設による増加見込みを上乗せ
- 学校整備計画の検討資料。児童数は特別支援学級の児童を含む全児童数、学級数は特別支援学級を含まない
- 次ページの中学校生徒数推計も同様

学校施設整備における生徒数推計(29年5月1日時点)

学校名	H29.5.1時点		H30(2018)		H31(2019)		H32(2020)		H33(2021)		H34(2022)		H35(2023)	
	学級数	生徒数												
西中	9	290	9	269	8	247	8	256	8	261	8	256	7	239
花乃井中	14	518	15	538	16	583	16	583	17	608	17	619	19	692
堀江中	15	558	15	553	16	572	18	651	20	722	21	757	21	783
中学校合計	38	1,366	39	1,360	40	1,402	42	1,490	45	1,591	46	1,632	47	1,714

学校名	H36(2024)		H37(2025)		H38(2026)		H39(2027)		H40(2028)		H41(2029)	
	学級数	生徒数										
西中	7	232	8	249	9	271	9	284	9	301	10	323
花乃井中	21	764	23	861	26	975	27	1,037	29	1,104	30	1,161
堀江中	23	876	26	1,008	29	1,111	31	1,187	33	1,269	36	1,390
中学校合計	51	1,872	57	2,118	64	2,357	67	2,508	71	2,674	76	2,874

児童・生徒の学力向上に向けた取組み

事業名称	平成29年度 中学生を対象とした民間事業者を活用した課外学習支援事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none">中学生を対象に学習塾等の民間事業者を活用し、基礎学力の向上等、生徒の習熟度に応じた学力向上及び学習習慣の形成を図るため、課外授業を実施するもの。平成29年度は試行実施として、西中学校において当該校の在籍生徒を対象に「夏期講習」を実施。1年・2年・3年と3教室に分かれ、計12日間にわたり午前9時から11時の2時間、習熟度別のグループ学習指導を実施。受講料は、前期・後期とも各1万円(塾代助成バウチャー使用可)実施科目は国語・数学・英語
実施期間	前期:平成29年7月21日(金)～7月28日(金)※土日を除く6日間 後期:平成29年8月17日(木)～8月24日(木)※土日を除く6日間
協定先	株式会社トライグループ 家庭教師のトライ大阪校
実施結果	募集人数:前期60人・後期60人 登録人数:前期25人・後期33人 参加者延べ人数:前期135人・後期166人 事業効果:参加者アンケート「今回学んだ内容は、今後の学習を進めるうえで役に立つと思う」に肯定的な回答をした割合92%
予算額	H29当初予算 65千円

児童・生徒の学力向上に向けた取組み

事業名称	平成29年度 西区英語コミュニケーション力向上事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none">区内の市立小・中学校に通学する児童・生徒を対象に、ネイティブスピーカーと英語によるコミュニケーションを行う場を提供することにより、外国人との交流意欲の向上や、多文化理解の促進を図るもの。 <p>【小学生】</p> <ul style="list-style-type: none">各校の講堂等で1回ずつ実施し、対象は原則として実施校に在籍する児童で、学年は学校との協議により決定。プログラムは1回あたり180分程度(休憩含む)で、受託者が提案する複数案の中から各校が選択して実施する。 <p>【中学生】</p> <ul style="list-style-type: none">区内在住の中学生を対象に、西区役所で1回、西区民センターで4回実施。プログラムは1回あたり120分程度(休憩を含む)。
実施期間	平成29年10月中旬～平成30年3月下旬の土日祝 小学生対象:延べ8回 ・ 中学生対象:延べ5回を予定
受託者	株式会社 イング
予算額	H29当初予算 2,942千円 、H29事業予算案 2,001千円

児童・生徒の体力向上に向けた取組み

事業名称	平成29年度 西区児童生徒の体力・運動能力向上支援事業
事業内容	小中学生の体力・運動能力の向上とスキルアップのため、小中学校の教員を対象に、水泳インストラクターによる実技指導研修会を開催し、教員の指導力の向上を図るとともに、各小中学校の体育科(水泳)の授業等へインストラクターを派遣し、実践的な授業を行うことで、授業内容の改善・充実を図る。
実施期間	(1)指導者研修会(水泳指導) 日時・場所:平成29年6月6日(火)15時~17時・西屋内プール (2)体育科授業(水泳)へのインストラクター派遣 実施期間:平成29年6月~9月 実施時間・回数:1回あたり講師2名を2時間×4回程度派遣
実施協力	西屋内プール指定管理事業者(ミズノスポーツサービス株式会社)
実施結果	(1)指導者研修会(水泳指導) 小学校教員34人・中学校教員2人(見学含む) (2)体育科授業(水泳)へのインストラクター派遣 小学校延べ31回(児童約4500人受講)・中学校延べ4回(生徒118人受講)
学校長コメント	児童の水泳に対する興味や意欲を引き出し、泳力向上につながった。教員が、講師による児童へのアドバイスの方法等を見て、指導の参考とすることができた。
予算額	H29当初予算 56千円、H29事業予算案 868千円

「はぐくみネット事業」に関する委員意見

平成29年3月22日 平成28年度 第2回 西区教育会議

委員意見

- 「はぐくみネット事業」が、子どもたちに有効なのか疑問。活動内容がPTA等他団体の活動と重複している。はぐくみネット事業を廃止して、発達障がいサポート事業など他事業の予算に充ててはどうか。
- 九条南小学校では、「はぐくみネット事業」は活発に活動している。無くなると地域とのかかわりが減ってくると思う。小学校ごとに検討して、必要がなければ自主的に事業をやめられる方法をとっていいのではないか。
- 「はぐくみネット事業」は、地域と学校とPTAが結びつくためのネットワークとして立ち上げられたもので、既に地域が結びついているのに、はぐくみネットをうたっているのは何故かという検証が必要。九条南では、お金のかからないところでも結びついており、なくす必要はないと思う。市からは全校設置という指示なので、学校が困らないように話し合いをしていくべき。

事務局回答

- 区も「はぐくみネット事業」については課題認識を持っており、各校において取組みの状況や温度差があるのは当然と考える。「はぐくみネット事業」は、教育委員会として全校でやることとなっており、たとえ「やりたくない」と言われても、区としては「やめましょう」と言えない立場。
- より細やかに、区の立場から、子どもたちのため、皆さんの活動のためにならないかと考える取組みが、まさに今進めている分権型教育行政の根幹。皆さんのご意見を受け止めて、教育委員会と話をしていきたい。

「小学校区教育協議会～はぐくみネット～事業」

1 第3次生涯学習計画大阪(計画期間2017ー2020)における課題認識

生涯学習の現状と課題

教育コミュニティづくりをめぐる事業においては、はぐくみネット事業と地域活動協議会の取組の重複が見られるとの意見が地域やボランティアから聞かれる状況もあります。

学校を核とする地域において、教育コミュニティづくりと学校・家庭・地域の連携を安定的に進めるために、各種団体の役割や各種事業の役割の整理が必要です。

2 西区における課題認識

(1) 各種団体の役割整理

- はぐくみネットの担う役割の一つとして、教育コミュニティに関する「情報収集と発信」があり、「情報紙」を発行している。
- しかし、連合振興町会・こども会などの地域団体やPTA・学校からも同様の情報が発信されており重複が見受けられる。

(2) 各種事業の役割整理

- はぐくみネット事業として、外部講師を招いての講座等が開催されているが、類似事業として「PTA・社会教育関係団体対象学習会助成事業」、「公募型企画講座支援事業」がある。

(3) 事業実施方法の整理

- 現状では、区役所が事業の枠組みを決定し、各小学校区教育協議会(はぐくみネット)への委託事業として委託料を支出している。
- 区からの業務委託を待つまでもなく、既に地域コミュニティにおいて子ども会や学校等と連携して自律的に事業が実施されている校区があり、一律に委託事業を実施する必要性に乏しい。

西区における「はぐくみネット事業」実施について(検討中)

1 広報活動について

これまでの「紙」による広報活動を区役所・学校のホームページに転換し、他団体の広報活動との重複感の解消を図る。

2 講座等の開催について

外部講師を招く場合は、「PTA・社会教育関係団体対象学習会助成事業」を活用し、他事業との重複感の解消を図る。

3 委託契約について

重複感の見直しにより、ことさら委託契約を締結せずとも、はぐくみネット活動を自律的に行う校区については、委託契約を行わない。

西区「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」事業実施要綱（抜粋）

（事業目的）

第1条 西区「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」事業は、地域の教育資源を学校教育に導入するなど、地域に開かれた学校づくりを進め、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、学校、家庭及び地域が一体となった総合的な教育力を発揮し、地域における人と人のつながりによって子どもを育む、教育コミュニティの育成を目的として実施する。

（実施団体の役割）

第3条 実施団体は、第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動等を実施する。

- (1) 学校と地域をつなぐ観点から学校教育を支援する活動
- (2) 地域における教育コミュニティの育成に関する活動
- (3) 学校教育や地域の情報収集及び地域住民への発信
- (4) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な活動等

(参考)はぐくみネット事業委託費の使途状況

学 校	平成28年度 主な使途(委託費に占める割合)
A小学校	情報紙発行(約50%)・物品購入(約50%)
B小学校	情報紙発行(約60%)・講師謝礼(約40%)
C小学校	情報紙発行(約30%)・講師謝礼(約30%)・物品購入(約40%)
D小学校	情報紙発行(約60%)・物品購入(約40%)
E小学校	情報紙発行(100%)
F小学校	情報紙発行(約20%)・物品購入(約80%)
G小学校	情報紙発行(約100%)

(参考)平成29年度区長自由経費(教育担当)

事業名称	事業概要	28年度予算		29年度予算		摘要
		当初予算	決算	当初予算	上段予算比 下段決算比	
発達障がい等サポート事業	特別支援学級及び普通学級に在籍する支援を要する児童・生徒の学校生活を発達障がいサポーターを雇用して支援	4,246千円	4,244千円	4,484千円	238千円 240千円	賃金
		延べ4,250時間分・交通費等		延べ4,400時間分・交通費等		
生涯学習ルーム事業	各小学校区の「生涯学習ルーム運営委員会」に生涯学習の推進、教育コミュニティの育成等を委託	400千円	350千円	384千円	▲16千円 34千円	委託費
		50,000円×8委員会		48,000円×8委員会		
地域連携支援事業	各小学校区の「生涯学習ルーム運営委員会」が主催する学校教育支援や地域の課題をテーマとした講座の開催を支援	482千円	422千円	480千円	▲2千円 58千円	講師謝礼
		60,200円×8委員会		60,000円×8委員会		
はぐくみネット事業	各小学校区の「小学校区教育会議－はぐくみネット－」に地域に開かれた学校づくり、教育コミュニティの育成等を委託	800千円	700千円	648千円	▲152千円 ▲52千円	委託費
		100,000円×8教育会議		81,000円×8教育会議		
学校体育施設開放事業	西区公立校の「学校体育施設開放事業運営委員会」に生涯スポーツの振興、地域コミュニティの発展等を委託	1,416千円	1,298千円	1,224千円	▲192千円 ▲74千円	委託費
		118,000円×12委員会		102,000円×12委員会		
PTA・社会教育関係団体学習会支援事業	PTA・社会教育関係団体が主催する人権や教育に関する学習会等を実施を支援	155千円	127千円	123千円	▲32千円 ▲4千円	講師謝礼
公募型企画講座支援事業	西区で活動する市民団体が主催する人権生涯学習などの講座等の実施を支援	147千円	27千円	136千円	▲11千円 109千円	講師謝礼
校庭等の芝生化事業	「日吉小学校芝生化実行委員会」が実施する芝生の維持管理活動を支援	61千円	29千円	61千円	0円 32千円	補助金
		155円/㎡×393㎡=60,915円(補助率50%)				

(参考) 全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

小学校の学力	平成26年度				平成27年度					平成28年度			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	算数A	算数B
全国平均	72.9	55.5	78.1	58.2	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	72.9	57.8	77.6	47.2
大阪市平均	69.7	52.7	76.0	55.8	65.7	62.5	72.8	42.8	56.3	69.7	54.6	75.3	44.7
全国平均を上回った学校	4校	6校	7校	7校	4校	5校	6校	6校	5校	5校	5校	6校	6校
大阪市平均を上回った学校	5校	8校	8校	7校	5校	6校	7校	6校	6校	6校	6校	6校	7校

中学校の学力	平成26年度				平成27年度					平成28年度			
	国語A	国語B	数学A	数学B	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B
全国平均	79.4	51.0	67.4	59.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0	75.6	66.5	62.2	44.1
大阪市平均	75.9	46.3	62.5	55.2	73.5	63.6	62.0	40.1	49.3	72.5	62.1	60.0	41.7
全国平均を上回った学校	2校	1校	2校	2校	2校	1校	2校	2校	2校	1校	1校	2校	1校
大阪市平均を上回った学校	3校	3校	2校	3校	3校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	3校	2校

《調査概要》

【調査の対象者】(26・27年度)小学校第6学年・特別支援学校小学部第6学年の全児童／中学校第3学年・特別支援学校中学部第3学年の全生徒
(28年度)小学校第6学年の全児童／中学校第3学年の全生徒

【調査内容】主として「知識」に関する問題(A問題)／主として「活用」に関する問題(B問題)

【調査日】平成26年4月22日(火)／平成27年4月21日(火)／平成28年4月19日(火)

体力合計点	小学校						中学校					
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	男子	女子										
全国平均	53.91	55.01	53.80	55.18	53.92	55.54	41.74	48.66	41.89	49.08	42.13	49.56
大阪市平均	52.31	53.52	52.23	53.50	52.61	54.30	40.47	47.51	40.62	48.12	41.25	49.20
全国平均を上回った学校	2校	3校	3校	5校	5校	5校	1校	0	0	0	0	0
大阪市平均を上回った学校	4校	4校	4校	7校	7校	7校	1校	0	0	2校	0	0

《調査概要》

【調査の対象者】(26・27年度)小学校第5学年・特別支援学校小学部第5学年／中学校第2学年・特別支援学校中学部第2学年
(28年度)小学校第5学年／中学校第2学年第2学年

※ただし、特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障がいの状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断。

【調査事項】◇小学校調査[8種目]

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

◇中学校調査[8種目]

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

【体力合計点】上記のテスト項目結果を点数化し、合計し総合評価の指標としたもの

【調査期間】平成26年4月～7月／平成27年4月～7月／平成28年4月～7月